

発行元：C T C 教育サービス

目次

- キャンペーン Rubyコース受講で資格試験対策本をプレゼント！
- ニュース C T C 教育サービス公式Twitter開始！
- トピック Inst. Tech View ~ 第12回 “ Rubyの最新情報 ” ~
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第10回 “ OK Computer ”

キ ャ ン ペ ー ン

Rubyコース受講で資格試験対策本をプレゼント！

この度C T C 教育サービスでは、技術評論社から「Ruby公式資格教科書 Ruby技術者認定試験Silver/Gold対応」が発行されたことを記念しまして、下記キャンペーンを実施いたします。

<対象コース>

R002：Ruby入門  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=692&m=10045&v=ccc8c204>  
対象日程：5/14-15、6/4-5

R013：実践 Ruby on Rails Webアプリケーション開発  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=693&m=10045&v=6943520a>  
対象日程4/23-25、6/11-13

R015：実践 Ruby on Rails 運用 ~ 開発からデプロイまで ~  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=694&m=10045&v=a713aea2>  
対象日程：6/25-27

<特典>

上記コース受講の方にはもれなく下記市販本をプレゼントいたします！

「Ruby公式資格教科書 Ruby技術者認定試験Silver/Gold対応」  
<http://gihyo.jp/book/2012/978-4-7741-5001-7>  
ISBN 978-4-7741-5001-7

<キャンペーン期間>

2012年4月～6月末までの該当コース

その他にもRubyコースをご用意しております。  
Ruby関連コース  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/ruby/index.html>

皆様のご受講を心よりお待ちしております。

ニ ュ ー ス

C T C 教育サービス公式Twitter開始！

C T C 教育サービス公式Twitterがスタートしました！

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=695&m=10045&v=02983eac>

こちらでは下記のような新着情報をご提供いたします。

- ・新着コース情報
- ・キャンペーン情報
- ・セミナー情報
- ・期間限定割引情報

是非ご活用ください！

## トピック

『 Inst. Tech View ~ 第12回 “ Rubyの最新情報 ” ~ 』

今回のInst. Tech Viewは、Rubyの最新情報についての話題です。

2012年3月、Ruby作者である まつもとゆきひろ氏が「2011 Free Software Awards」を受賞されました。この賞はFSFが年に1度、フリーソフトウェア界に大きく貢献した人物・プロジェクトに授与している賞です。

FSFはリチャード・ストールマン氏が創設したフリーソフトウェア財団 (Free Software Foundation)です。リチャード・ストールマン氏といえば、フリーソフトウェアの活動家として知られる有名なプログラマーです。

ストールマン氏が開発した代表的なソフトウェアに「GNU Emacs」というテキストエディタがあります。まつもと氏は受賞の際に「How Emacs changed my life」というタイトルの講演を行うほどの熱心なユーザであり、1988年に触れて以来Emacsを使い続けているそうです。

まつもと氏はこの賞を受賞した時の気持ちをTwitterで「今までいるんな賞をいただきましたが、一番嬉しい気がします。感動で泣きそうになりました。」とつぶやいております。

「Free Software Awards」は過去に、Perl作者のラリー・ウォール氏、Python作者のグイド・ヴァンロッサム氏などの著名人も受賞しています。

また少し古い情報ですが、2011年3月にRubyのJIS規格(JIS X 3017)が制定されました。

Rubyは以前から言語仕様が文書化されずに、まつもと氏の実装そのものが言語仕様に準ずるものとして扱われていました。しかし、RubyのJIS規格を制定するにあたり言語仕様が文書化されました。

まつもと氏はRubyをC言語で開発しましたが、Javaで開発したJRubyなどの他言語での実装も増えています。言語仕様の文書化によって、他言語で実装されたRubyの信頼性が高まることが予想されます。

そして2012年4月、Rubyが国際規格(ISO/IEC 30170)として承認されたことが発表されました。日本で開発されたプログラミング言語が国際規格として承認されたのは初めてのことでそうです。

IPAはこの発表の際に「Rubyが国際規格となったことで、Ruby言語仕様の安定性や信頼性が増し、Rubyを学ぶプログラマーの数、Rubyを採用する企業や組織の数が増大することが期待される」とコメントしています。

まつもと氏自身は現在、組み込みの分野で使用できる軽量版Rubyを開発中であり、現在注目されているウェブ以外の分野でもRubyが使われる可能性があります。

「2011 Free Software Awards」「Ruby 国際規格」「軽量版Ruby」など、今年もRubyの話題から目が離せません。

コース情報に関する詳細情報は弊社ウェブページをご覧ください。

関連コースの詳細情報はこちら：

R020: Ruby 技術者認定試験 Silver (RY0-100) 対策  
<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=696&m=10045&v=377588ff>

R021: Ruby 技術者認定試験 Gold (RY0-200) 対策

<http://dm.ctc-g.co.jp/c?c=697&m=10045&v=92fe18f1>

「Ruby/Ruby on Rails/技術者認定試験」関連コース  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/ruby/>

## コラム

### 『スーパーエンジニアの独り言 第10回 “OK Computer” 』

幼き日々には夢見ていた未来が唐突に急接近してきました。

太陽光発電、電気自動車が、ここ数年で実用化され現実に普及し始めています。リニアモーターカー、電気バイクも近い将来実用化されるのでしょうか。歴史あるマン島レースにて電動バイクレース(TTxGP, TT Zero)も盛んになり、あの「金田のバイク」が近い将来には市販されることを期待させます。

情報通信分野では、ビデオシーバーはスマートフォンやSkype、FaceTimeで、音声操作は、Siri、Evi など音声認識技術を駆使して実現されつつあります。

S.F.でコンピュータを音声操作する場面としては、映画版スタートレックの一場面でも過去にタイムワープしたチャーリー（スコッティ）が、Macintoshのマウスを持って話しかけるシーンが秀逸です。音声入力だと勘違いしたのです。USSエンタープライズ号のコンピュータ(LCARS)は、音声操作だからです。スコッティはこの後、凄い勢いでキーボードをタイプします。

現実でもGoogleがMajelという音声認識エンジンを開発中でありこれは、スタートレックでコンピュータの声を演じた「Majel Barrett」に由来する名前だそうで、今年中にはお目見えすることになりそうです。

コンピュータへのインターフェースとしては、ウィリアム・ギブスン原案映画「JM」でのキアヌリーブスを思い出します。アイマスクとグローブを装着して手を動かすことでネットに接続し体感的に情報を操作する姿は、まさに理想のインターフェースでありましょう。グローブと言えば、ファミコンでの「パワーグローブ」というコントローラが思い出されます。更にゲームコントローラと言えば、Kinectセンサーが画期的な入力装置として登場しています。ジェスチャーで操作可能な直感的なインターフェースは、アクセシビリティの効能は勿論のこと、ゲームの枠組みを超えて様々な活用できることでしょう。

前述のJMのワンシーン同様、マトリックスでも仮想現実でコンピュータを操作する場面がありましたが、これらはAR(Augmented Reality)技術が可能にしてくれることでしょう。拡張現実と訳されるこの技術は、現実世界に情報を付加して提示してくれるものです。セカイカメラをはじめとしてスマートフォンなどを中心に幾つかのアプリケーションが登場し始めています。

Googleでもこの「拡張現実メガネ」を開発中でGoogle X Labを母体に"Project Glass"と呼ばれ、メガネ型の機器に様々な情報がストリーミングされてくるといふ代物です。NECでも同様な試みでテレスカウターというヘッドマウントディスプレイを昨年発売しています。これらの未来メガネは、まさに「脳コイル」を想起させるものです。

心象風景に浮かぶ未来世界への憧憬は、あれから何十年経っても現実世界にお目見えしていませんでしたが、急速に今、未来が眼下に見えてきました。長年、地道に研究されていた基礎技術が開花の季節を迎えたようです。やっと二十一世紀の香りが漂い、幼少期に眺めた絵本の挿絵が現実になる様を眺めることができるのでしょう。これからの変化を是非楽しみたいものです。

少し先の未来、コンピュータの流麗な合成音声の「これを処理します」を傍で聞きながら、単に「オーケー、コンピュータ。」と返事をするだけで事足りるような光景が描かれるのかもしれませんが。では次回もご期待ください。

お問合せ・ご意見・ご感想は CTC教育サービス 窓口まで  
 シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部  
 ページ(3)

外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社（CTC100%出資子会社）に委託しております。

本メールマガジン編集・配信責任者

CTC エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一

所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jp

個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

[http://www.ctc-g.co.jp/guide/security\\_policy.html?top=b\\_security](http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security)

配信中止及びお問合せ対応について

- ・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。  
<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>
- ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
- ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。